

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	医療接遇		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	村上 亜由美					
科目目標	社会人としてさまざまな日常場面や医療現場において、正しい日本語を活用しながら、適切に対応できる力を身につける。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	オリエンテーション 医療接遇とは	講義	村上		
2	2	基本の接遇(あいさつ・身だしなみ・言葉づかい・表情・態度)	講義・演習	村上		
3	2	書く力 読む力 話す力 伝える力 コミュニケーション能力	講義・演習	村上		
4	2	相手の状態及び場に応じて適切な言葉とその使い方	講義・演習	村上		
5	2	傾聴力・質問力・提案力・チーム連携力	講義・演習	村上		
6	2	社会人基礎力(自ら考え、客観的に判断し、主体的に行動できる)	講義・演習	村上		
7	2	まとめ	講義・演習	村上		
8	1	終了試験	試験	村上		
評価方法	終了試験の成績と出席状況・授業態度を含め総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	石塚修他共著 日本語表現&コミュニケーション改訂版社会を生きるための22のワーク 実教出版					
参考文献						
備考						

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	社会学		学年時期	1年 後期		
担当講師 (実務経験)	永野 典詞					
科目目標	①社会における人間の様々な行動や現象を社会学的な視点から考察できるようになる。 ②個人、集団、組織について学び、個々人の役割と期待を理解する。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	オリエンテーション 社会学の学びについて、授業のルールなど	講義	永野		
2	2	行為と行動 社会的行為、相互行為、社会関係など人間の行為と社会との関係などについて理解する	講義	永野		
3	2	役割作用論 社会における人の地位と役割について学ぶ 役割期待や役割葛藤などを理解する	講義	永野		
4	2	家族の社会学 家族生活を制度、集団、ライフスタイル、仕事(勤労者としての役割など)、関係、行為などから考察する	講義	永野		
5	2	構造と過程 社会の構造を理解し、社会学的解釈の方法を学ぶ	講義	永野		
6	2	健康・病気の社会格差 社会階層、格差と平等とは何か、健康、病気の社会格差の諸相を学ぶ	講義	永野		
7	2	保健医療と社会学 保健医療を社会学の視点から捉える。医療の社会性、社会的防衛、公衆衛生、医療社会学とは何かを学ぶ	講義	永野		
8	2	全体社会の概念 全体社会とは何かを理解し産業化がもたらす現象社会のしくみなどについて学ぶ	講義	永野		
9	2	遊びの社会学 遊びの行為を社会的に検討する。遊びの行為の特徴や商品化される遊びのあり方などについて理解する	講義	永野		
10	2	組織論 官僚制組織について学ぶ。組織のあり方、官僚制組織の合理性を理解し分業や階級制のメリット、デメリットを知る	講義	永野		
11	2	医療専門職としてのケア ケアとは何かを理解する。また、1パーソンズが提唱した機能的限定性、関心領域について学び看護におけるケアのあり方を考察する	講義	永野		
12	2	ケアの社会学 ケアを社会的視点で捉え、ケアにおける看護師の役割や患者のニーズについて学ぶ	講義	永野		
13	2	ケアの技法と倫理 ケアにおける技法と倫理のあり方、考え方を考察し理解する	講義	永野		
14	2	医療と人間関係 医療従事者間、対象者、その他の人間関係について学ぶ。看護師と患者の関係性、看護師と看護師の関係性を考察する	講義	永野		
15	2	まとめと省察・終了試験	講義・試験	永野		
評価方法	終了試験の成績(50点)、授業への主体的な参加度(50点)で評価する					
評価基準	各試験6割以上獲得で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統別看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院					
参考文献						
備考	社会学を学ぶことで、私たちの生活を客観的に観察し、感情だけに依拠しない行動や思考ができるようになることを目指します。そこにある現象がはたして正しいのか、間違っているのか、多くの人が言っているから正しいのか、社会学的な視点からクリティカルな考察ができるようになることも重要です。家族や社会、組織のあり方、医療現場における患者と医療者の関わりなどを社会的に捉えて行くことを期待します。					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	文化人類学		学年時期	2年 後期		
担当講師 (実務経験)	徳安 祐子					
科目目標	日本民族を知るとともに、国際的視野を持つために、多様な民族の文化・宗教・習慣・生活様式・価値観などを学ぶ					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	文化人類学とは何か フィールドワークについて 言語と記号	講義	徳安		
2	2	象徴人類学の概要 文化人類学の歴史と進化論	講義	徳安		
3	2	進化論と人種論と文化相対主義 親族理論①	講義	徳安		
4	2	親族理論② 日本における「イエ」の観念について	講義	徳安		
5	2	中国における「宗教」の観念について 家と国家	講義	徳安		
6	2	個人と社会と国家 近代世界のしくみ①	講義	徳安		
7	2	近代世界のしくみ② 二者関係と三者関係	講義	徳安		
8	1	終了試験	試験	徳安		
評価方法	終了試験の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統別看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院					
参考文献						

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	人間関係論		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	石田 祐子					
科目目標	基本的な対人関係能力の基礎を養う。「ロールプレイ」を通して、人間関係成立の基礎を養う。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	オリエンテーション 人間関係論とは	講義	石田		
2	2	自己概念と人間関係の発達	講義	石田		
3	2	対人関係と葛藤	講義	石田		
4	2	集団と個人	講義	石田		
5	2	コミュニケーションにおける「話す」と「聴く」	講義	石田		
6	2	アンガーマネジメント	講義	石田		
7	2	ストレスマネジメント	講義	石田		
8	2	ソーシャルスキル	演習	石田		
9	2	コーチング	講義	石田		
10	2	カウンセリングと心理療法	講義	石田		
11	2	アサーションの理論とスキル	講義	石田		
12	2	患者を支える人間関係①	講義	石田		
13	2	患者を支える人間関係②	講義	石田		
14	2	家族や地域を含めた人間関係	講義	石田		
15	2	まとめと終了試験	講義・試験	石田		
評価方法	終了試験(筆記試験及びレポート課題)の成績(100点満点)で評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	星野欣生「人間関係づくりトレーニング」金子書房2003					
参考文献	星野欣生「人間関係づくりトレーニング」金子書房2003					
備考	グループワークや実習を通じての体験的・実践的な学びを重視する					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	英会話		学年時期	1年 前期		
担当講師 (実務経験)	Richard Gilbert					
科目目標	This is a student-centered course designed to progress abilities in reading, writing, speaking and listening with a focus on daily English use. (日常英会話を通して、国際社会に関心を持つ能力を身につける)					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	Individual vocabulary building	講義	Richard Gilbert		
2	2		講義	Richard Gilbert		
3	2		講義	Richard Gilbert		
4	2	Controlled conversations	講義	Richard Gilbert		
5	2		講義	Richard Gilbert		
6	2		講義	Richard Gilbert		
7	2	Question building	講義	Richard Gilbert		
8	2		演習	Richard Gilbert		
9	2		講義	Richard Gilbert		
10	2	Contextual vocabulary	講義	Richard Gilbert		
11	2		講義	Richard Gilbert		
12	2		講義	Richard Gilbert		
13	2	Question and answer completion	講義	Richard Gilbert		
14	2		講義	Richard Gilbert		
15	2	まとめと終了試験	試験	Richard Gilbert		
評価方法						
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	Let's Talk About It (1,000 Questions for Conversation)					
参考文献						
備考	20名ずつの少人数クラスでの授業					

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	生活科学		学年時期	1年 後期		
担当講師 (実務経験)	宮尾 美稔					
科目目標	人間の生活の基本である衣・食・住生活および生活を支えるエネルギーや環境問題などについて理解し、健康的な生活について考えることができる。					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	生活科学とは		講義	宮尾	
2	2	健康と生活		講義	宮尾	
3	2	食生活		講義	宮尾	
4	2	衣生活		講義	宮尾	
5	2	住生活		講義	宮尾	
6	2	エネルギー資源について 環境問題		講義	宮尾	
7	2	水と生活		講義	宮尾	
8	1	終了試験		試験	宮尾	
評価方法	終了試験の成績及び受講態度で総合的に評価する(100点満点)					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	講師が提示される資料					
参考文献	藤城敏幸著 新編生活科学 東京教学社 保田仁資著 やさしい環境科学 化学同人 山本直成著 生活科学 理工学社					
備考						

分野	基礎分野		単位数	1	時間数	30	
授業科目	保健体育		学年時期	1年 前期			
担当講師 (実務経験)	村上 清英						
科目目標	自らの体力づくりを通して、運動と健康、レクリエーションについて学ぶ。						
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師	
1	2				講義	村上	
2	2				演習	村上	
3	2				演習	村上	
4	2				演習	村上	
5	2				演習	村上	
6	2				オリエンテーション	演習	村上
7	2				運動と健康について	演習	村上
8	2				健康づくりにおける運動の意義 レクリエーションについて	演習	村上
9	2				発達段階に合わせたレクリエーションのポイント	演習	村上
10	2					演習	村上
11	2					演習	村上
12	2					演習	村上
13	2					演習	村上
14	2					演習	村上
15	2				まとめと終了試験(体力測定及び実技試験含む)	演習	村上
評価方法	体育の講義に対しては適宜実技試験を行う。レポート及び参加意識などから、学習内容の到達度を総合的に評価する						
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)						
テキスト	特になし						
参考文献							
備考	学校の体育館を使用する						